

鋸南町総合計画 実施状況(令和4年度分)

基本目標	施策	担当課	実施した事業内容	成果	課題	今後の方向性
基本目標1: 支えあい安心育む福祉のまち	①地域福祉	保健福祉課 福祉支援室	①訪問型サービスB事業(訪問助け合い活動)(ちょこボラ) ②福祉有償運送事業(カーぼら)	①訪問型サービスB事業 利用延人数113人 利用回数375回 ②福祉有償運送事業(カーぼら) 利用延人数991人 利用回数3,329回	①サービス提供時間や、サポーターの所在する地域が偏っており、マッチングが困難なケースがある。 ②使用している車両の老朽化。	①より多くのサポーターを養成し、利用者の希望する曜日・時間帯、在住する地域によらずに対応できるようにする。 ②運転ボランティア養成研修の受講料の助成を継続していく。
	②健康づくり	保健福祉課 健康推進室	35歳以上のフレッシュ健診対象者、前年度特定健診の集団健診受診者のうち令和4年度に申込のない者、平成30年度以降受診のない者への個別電話勧奨を実施した。 併せて、がん検診についても啓発、町報により複数回の周知を行った。	個別勧奨により前年度と比較し、がん検診を含めた各検診の受診率が、4~7%向上した。	1人あたりの医療費が県下最下位となっており、外来のレセプト件数では、高血圧が最も高く、介護保険認定者の半数以上が高血圧症、心疾患に罹患している。特定保健指導対象者43名中、指導を受けた者は、3割程度の14名となっている。	特定健診・ガン検診の受診率向上とともに、特定保健指導の実施率の向上を図る。
	③保険・年金・医療	保健福祉課 健康推進室	鋸南病院の運営に関する懇談会を実施し、取組等への提案をした。 新型コロナワクチン接種業務に際し、会場提供・受付業務等協力を行った。	町報等を活用し、地域の病院であることを改めて周知することができた。	病院職員全体として、運営に対する意識改革が必要と思われる	地域の病院として存続するための多方面からの検討が必要となる
		税務住民課 住民保険室	・人工知能(AI)を活用した特定健診未受診者対策 ・フレッシュ健診事業 ・重複・多剤投薬被保険者に対する服薬情報通知事業	施設健診委託期間を1ヵ月延長したことにより、AIによるハガキ勧奨がより有効活用された。また、若年層への事業周知が図られた。	新型コロナウイルス感染症による受診控えを再受診へと導くことが必要。	引続き集団健診(予約制)と施設健診を併用。また過去2年未受診者の受診復帰及び、今年度受診者のリポート受診強化。
	④子ども・子育て	保健福祉課 健康推進室	妊娠・出産・子育てに渡る期間に継続して面談・訪問をすることにより、より身近な存在となることで、子育て世代が相談しやすい体制づくりに取組んだ。	妊娠届出の全妊婦及び新生児を訪問し、アンケート調査を行った。また、交付金の支給により精神面・経済面での一助となった。乳児の全家庭を訪問し、絵本・紙おむつ他育児用消耗品の提供を行い、継続的に寄り添い、支援の必要な家庭に支援を行った。	核家族化が進む中、一時的な手替わり等が必要となっているが、内容によっては絶対数が少ないため個別な問題となり、町全体の課題として捉えられないことがある。	保育所等との連携により、地域課題に応じたサービスの提供が出来るよう取組む。必要に応じ、民間等の介入により、地域課題に応じた支援の充実を検討する。
		教育課 教育総務室	就学前児童の屋外の遊び場として、令和3年8月から日曜日と祝祭日に保育所及び幼稚園の園庭を開放した。	保育所及び幼稚園の保護者に周知し、遊び場として利用されている。利用者は、屋外の遊び場が増え好評である。	現時点では、特になし。	この取組みは今後も継続していく。
	⑤高齢者・介護	保健福祉課 福祉支援室	①地域リハビリ活動支援事業 ②介護予防把握事業 ③地域介護予防活動支援事業	①地域リハビリ活動支援事業 開催地区数8地区 参加者数 71名 個別訪問者数11名 ※前年度と横ばい ②基本チェックリスト回収率 70.8% 個別指導数(訪問・電話) 43名 ※回収率・個別指導数ともに増加 ③参加者数 実213名 延845名 ※健幸ウォーク(ポールウォーキング)を新規実施したことにより前年度よりも増加	・介護予防の効果からリハ職の集団指導の参加者の増加 ・マンパワー不足によるアウトリーチの実施 ・予防事業の未参加者への対応	・介護予防把握事業のアウトリーチ(訪問・電話)の継続 ・介護予防事業の新規参加勧奨の継続と勧奨方法の見直し
⑥障害者	保健福祉課 福祉支援室	就労継続支援事業の利用促進	就労継続支援A型 5名、就労継続支援B型 26名 ※前年度からともに増加	地域の社会的資源や人員の不足に対し、安房管内の連携を取り対応しているが、安房管内においても同様の課題を抱えている。	地域課題として安房管内の行政機関や医療・福祉機関と密な連携を継続し、サービス基盤の低下を防いでいく。	

基本目標	施策	担当課	実施した事業内容	成果	課題	今後の方向性
基本目標2:学びの意欲湧く教育のまち	⑦学校教育	教育課 教育総務室	地域学習の推進として、小学6年生は地域の課題を整理し、その解消策を提言した。中学1年生は、ボランティアにより地域の歴史を学んだ。小学5年生、中学1・3年生は鋸山について学習を深めた。	鋸南町の課題やその解決策を考え発表することで、郷土愛の醸成を図ることができた。町の歴史や名勝を学び、町の素晴らしさを再認識する機会となった。屋上の防水工事がすべて完了した。	新たな教科の増など、小学校における地域学習の授業時間の確保が年々難しい状況である。中学校施設の改修は、外壁、建具、トイレ等、それぞれの規模が大きく財源の確保が困難と思われる。	地域学習は今後も継続していく。中学校施設の改修は、優先度を把握し、計画的に実施していく。
	⑧青少年育成	教育課 生涯学習室	自然を活用した体験活動として「藍・桜の染物教室」「田植え体験」「芋ほり体験」「海遊び」「鋸山登山」を行った。	地域の豊かな自然を再認識し、郷土への愛着を育むことができた。	現時点では、特になし。	この取組みは今後も継続していく。
	⑨生涯学習・スポーツ	教育課 生涯学習室	「らくらくスマホ教室」「油絵教室」「浮世絵版画摺り指導者養成講座」等新たな講座をはじめ13教室を開催した。また、文化祭もコロナ禍の中展示の部のみを開催した。スポーツ関係では、プール利用促進の企画として、高齢者のリハビリ事業として水中歩行を取り入れた2教室を実施した。また、夏休みに小中学生を対象にプールの無料開放を実施した。	様々なジャンルの公民館講座を開催することで、新規の参加者が見られコミュニケーションを深めることができた。高齢者のリハビリ事業として開催した水中歩行の教室の参加者からは体力の向上、健康増進につながったと好評だった。小中学生のプール無料開放では、新規の利用者につながった。	現時点では、特になし。	この取組みは今後も継続していく。
	⑩地域間交流	総務企画課 企画財政室	・11月にJA上伊那辰野支所でのイベントに「鋸南町物産展」を出店し、地元産品の販売を行った。 ・12月に道の駅保田小学校7周年開校記念祭において、「たつの物産フェア」の出店をいただき、地場産品の販売を行った。	・交流事業実施により賑わいが生まれ、友好都市との絆が強くなった。 ・事業を通して双方の行政及び関係団体との人事交流も活発となり、有効な事業展開の手法などの情報交換や情報共有に寄与することができた。	・販売物品は人気が高く、在庫も残ることなく完売している状況であるが、購入できない方もおり、販売数量については課題が残る結果となった。	・物産展等のイベントに関わらず双方の道の駅等で、定期的に販売できるようにするなどの検討が必要。 ・また、世代ごとの交流行事について検討が必要。
	⑪文化・芸術	教育課 生涯学習室	菱川師宣記念館の展覧会として「頼朝起つ」、「小島鐵男展」、「保田を愛した歌人や画家」、「万葉のひかり」などジャンルにこだわらず魅力的な企画展を開催した。また要請を受け、講演会を多数行った。	「頼朝展」はNHKの大河ドラマの放映時期と重なり入館者が増となり、図録の販売も好調で好評を得た。	現時点では、特になし。	この取組みは今後も継続していく。
	⑫人権・多文化共生・消費者保護	税務住民課 住民保険室	①小学校 人権ポスターコンテスト参加 ②中学校 人権作文コンテスト参加 ③鋸南小4年生、鋸南中1年生 人権教室実施 ④人権週間の街頭啓発活動	・小学校 37名参加(ポスター) ・中学校 40名参加(作文) ・おどや鋸南店入口にて啓発物資配布。	現時点では、特になし。	人権ポスターや人権作文は継続的実施。人権教室は状況により年1回開催予定。
		総務企画課 企画財政室	中学校において地域推進員による男女共同参画のセミナー(寸劇事業)を実施。	セミナーを聞いて82%の生徒がよくわかったと回答した。	町男女共同参画推進計画に基づき、計画を推進していく。	ポスターの掲示や広報紙への掲載などによる周知活動を積極的に行い、幅広い年代からの理解を得る。
地域振興課 まちづくり推進室		消費生活相談窓口にて、問い合わせがあった際にヒアリング及び県消費者センターへ斡旋。館山市と合同で借金ヤミ金無料相談会を実施。	借金ヤミ金無料相談会(R4.11実施) 相談者:計1名 町民の参加はなし。	消費生活相談員がいないため、問い合わせの際には県消費者センターへの斡旋を行うのみの対応となる。	引き続き、問い合わせへの対応。また、他市町と合同で開催できる研修会や相談会の実施。	

基本目標	施策	担当課	実施した事業内容	成果	課題	今後の方向性
基本目標3:活気あふれる産業のまち	⑬農林業振興	地域振興課 農林水産振興室	農業次世代人材投資事業を3件(うち2件が夫婦型のため5名)に600万円を助成した。	助成を行うことで、収入が不安定な就農当初の資金とすることができる	高齢化で離農する方が多いが、新規に就農する方が少ない。	法人や集落営農組織で就農者を雇い、給料を払えるようになれば、収入が安定し若者が入りやすくなる。法人化、集落営農を推進する。
	⑭水産業振興	地域振興課 農林水産振興室	・アワビ稚貝放流 87.58kg ・サザエ稚貝放流 44kg ・クルマエビ種苗放流 270,000尾	・アワビ漁獲量 27.77kg ・サザエ漁獲量 5,202.75kg ・クルマエビ漁獲量 3.51kg	アワビ等の生育環境である藻場が、磯焼けにより焼失しており漁獲量が減っている。	稚貝放流等を継続しながら、磯焼け対策を行い、藻場の復活を図る。
	⑮商工業振興	地域振興課 まちづくり推進室	商工会主体で事業者向けスキルアップ研修等を実施。	令和4年度:4回実施 内容:制度改正等(キャッシュレス決済)に伴う説明会、インボイス制度対策セミナーなど	少子高齢化による、後任の不在や事業承継の必要性など。	商工会と協力し、地域企業の広域化連携を行っていく。
	⑯観光振興	地域振興課 まちづくり推進室	佐久間ダム及び町内の景観整備のため、花木の植栽及び除草作業を実施。	河津桜などの桜の他には、アジサイやレンギョウを植栽。除草作業は年間通じて実施した。 ・水仙まつり入込(R4.12~R5.2):27,120人 ・桜まつり入込(R5.2~R5.4):37,250人	毎年草刈りを実施しなければならない箇所が増加しているが、職員、会計年度任用職員の人員数に変わりがなく、作業が遅れ気味になる。	福島県の「花見山公園」を目指し、来訪客の目を楽しませられるよう、既に植栽の完了している花木の維持管理にも努め、植栽も行っていく。
	⑰雇用対策と就労支援	地域振興課 まちづくり推進室	公共職業安定所からの求人情報を月2回、町ホームページに掲載するとともに庁舎入口と保健福祉総合センターに配架。 面接練習セミナーの実施。 安房地域内の学生を対象とした進路指導セミナー開催に向けての調整会議の実施。	面接練習セミナーは、17名の生徒が参加。 進路指導セミナーは、141名の生徒が参加(町内業者の参加はなし)。	進路指導セミナーについては、新型コロナウイルス感染症が落ち着いたことから再開したが、鋸南町内の求人が少なく、町内業者の参加がなかった。	令和5年度についても進路指導セミナーを実施予定であるため、他の市町と協力し開催に向けて準備を進める。

基本目標	施策	担当課	実施した事業内容	成果	課題	今後の方向性	
基本目標4:利便性の高い生活しやすいまち	⑱土地利用	総務企画課 企画財政室	・県下一斉宅地パトロールを年6回実施。 ・8件の宅地開発に係る相談等を町指導要綱に基づき指導。 ・町指導要綱を国の指針等に沿った内容に改正。	宅地開発協議会該当の開発事業はなし。 違反宅地開発事業の未然防止。	現時点では、特になし。	鋸南町宅地開発事業等指導要綱に基づき、無秩序な開発行為を防止し、生活環境の保全に努める。	
	⑲道路・橋梁	建設水道課 建設環境室	橋梁長寿命化修繕計画更新N=73橋 橋梁補修工事(小向3号橋・郷城橋・大田1号橋)	令和4年度の法定点検結果により長寿命化修繕計画を更新し、全73橋のうち判定区分Ⅲ(早期措置段階)の9橋のうち小向3号橋ほか2橋の補修に着手した。	判定区分Ⅲ(早期措置段階)の橋梁があり、引き続き計画的な修繕が必要である。	長寿命化修繕計画に基づき、継続的な補修設計及び補修工事を実施する。	
	⑳公共交通	総務企画課 企画財政室	・公共交通機関を利用した遠距離通勤・通学を支援するため、蘇我以北へ通勤する方を対象に助成金を交付。(令和4年度から通学を追加) ・新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用して町内タクシー事業者に事業継続支援金を交付。 ・地域公共交通会議の立ち上げ、AIオンデマンド交通の実証運行実施に向け合意形成を図った。	・通勤支援助成金 交付実績 525千円(@100千円/人×5人、@25千円/人×1人) ・通学支援助成金 交付実績 400千円(@100千円/人×4人) ・事業継続支援金(140千円)を交付することにより、事業継続に向けた支援につながった。	・助成対象者の通勤・通学実態に合った金額・方法での助成金の交付が必要。 ・高齢化などを踏まえ、町民ニーズにあった公共交通施策の検討が必要となっている。	・今後も支援を継続。 ・AIオンデマンド交通の実証運行を通じて、今後の公共交通の在り方を検討していく。 ・タクシー事業者は、燃料価格高騰の影響が続いているため、継続的な支援を検討していく。	
	㉑住宅	建設水道課 建設環境室	○住宅取得奨励事業 ○住宅リフォーム補助事業	○住宅取得奨励金事業 全17件 7,600千円を補助 転入者 3件・子育て世帯 6件 ○住宅リフォーム補助事業 全18件 2,585千円を補助	○住宅取得奨励金事業 全17件中、転入者は3件のみで、転入者の更なる制度活用が望まれる。 ○住宅リフォーム補助事業 全18件の活用があり、当初の予定件数は達成したが、補正後の予定件数は達成できなかったため、更なる制度活用が望まれる。	○住宅取得奨励金事業 全17件中、転入者は3件のみで、転入者の更なる制度活用が望まれる。 ○住宅リフォーム補助事業 全18件の活用があり、当初の予定件数は達成したが、補正後の予定件数は達成できなかったため、更なる制度活用が望まれる。	○住宅取得奨励金事業 ○住宅リフォーム補助事業 住宅取得奨励金は、令和5年度から制度改正により、1件あたりの奨励金額も増額されるため、一定の効果が見込まれる。両事業ともに事業推進のため、HP・町報等で情報の周知を徹底していく。
		地域振興課 まちづくり推進室	・固定資産税納税通知書に空き家バンク制度周知のチラシを同封 ・農地付き空き家の取り扱いをR3.1月から開始	新規登録物件:8件(うち農地付き2件) 成約件数 :7件(うち農地付き2件)	・鋸南町の空き家の需要に対して、供給できる空き家の数が少ない。また、空き家バンクへの掲載に意欲的な所有者が少ない。 ・農地付き空き家の認知度がまだ低い。	引き続き、空き家バンク制度の利用促進を行い、新規空き家(農地付き含む)の開拓や制度周知を行っていく。	
	㉒上水道	建設水道課 水道室	1.老朽管の更新事業 2.基幹管路の更新事業 3.配水場施設の更新事業	1.漏水多発管(老朽石綿セメント管等)の更新による漏水防止効果と管路の耐震化率の向上 2.導水管・送水管等の老朽石綿セメント管の更新による管路の耐震化率の向上 3.加圧ポンプ場の更新による水道水の安定供給	1.耐用年数を超えた管路が142.0kmあり、経年化率は32.0%となっている。老朽管の更新には長い年月と膨大な費用を要する。 2.基幹管路の耐震化率は8.33%と県内水道事業者の中でも耐震化が進んでいない。基幹管路の更新には膨大な費用を要する。 3.41ヶ所の加圧ポンプ施設のうち全面改修済みの施設は10施設、ポンプ等の一部改修施設は15ヶ所、耐用年数を超えた残りの17施設は未改修である。 ・町内施設の老朽化により、今後も改修が見込まれる。	水道事業の運営基盤の強化のため水道事業の広域化・事業統合が必須であり、現在、安房地域末端水道事業統合に向けて協議が進められている。令和7年4月の統合に向けて水道施設整備計画に基づき老朽管の更新と業務の統一を各企業間で進めていく。	
	㉓消防	総務企画課 総務管理室	・消火栓維持のため、改修を2か所実施した。	・消防施設の維持を図れた。	・町内施設の老朽化により、今後も改修が見込まれる。	・計画的な改修を行うため、改修計画を立て実施していく。	
	㉔防災	総務企画課 総務管理室	・防災行政無線親卓設備の更新を行った。 ・ハザードマップの作成を行った。	・災害時に情報を迅速に伝えるための手段として防災行政無線親卓の更新を行い、音声放送だけでなく、SNS等複数メディアへの情報発信を可能とした。 ・災害時、避難行動の参考として、ハザードマップを4,000部作成し、各戸配布した。	・スマホをもつ高齢者が少ないため、SNSで情報を発信しても受け取ることができず、音声放送に依存する状態が懸念される。 ・防災行動の動機づけのための資料として、ハザードマップを作製したが、自主防災組織の増加までには至っていない。	・災害時の迅速な情報発信のあり方を研究・検証する。 ・高齢者など情報弱者に対する情報発信の検討。 ・自主防災組織の組織率向上に向け、地道な啓蒙。	
	㉕防犯・交通安全	総務企画課 総務管理室	・LED防犯灯の行政区への無償貸与(1基)を実施した。 ・カーブミラーの配布を5区、8基実施した。 ・運転免許の自主返納者に対し、循環バスの回数券4,500円分を交付した。	・年間の犯罪発生件数(刑法犯認知件数)は8件だった。(昨年比-16件) ・年間の交通事故発生件数は15件だった。(昨年比増減-2) ・運転免許の自主返納件数 8件(前年比+1件)	・運転免許自主返納者への継続した支援支援が必要と考えられるが、現状は回数券の交付が1回限りとなっており、使い切った後の支援が課題 ・循環バスの本数等が少ないことなどもあり、まだ車なしでは買い物等の生活が困難で運転免許の自主返納が進まない。	・LED防犯灯器具、カーブミラーの無償貸与は継続実施。 ・運転免許自主返納者への循環バス回数券の交付を継続実施。	

基本目標	施策	担当課	実施した事業内容	成果	課題	今後の方向性
基本目標5:豊かな自然を守る環境のまち	②⑥廃棄物・リサイクル	建設水道課 建設環境室	一般廃棄物処理広域化(ごみ・し尿) 町内環境美化活動	広域化に向けて構成市町において、順調に進捗を重ねている。 年2回の清掃活動を実施し、5月のゴミゼロ運動では8.6t、12月の一斉清掃では6tの収集成果が得られた。	ごみゼロ運動では草の排出が増えてきている。多く排出されるごみを効率よく収集できるように模索していく。	広域化による住民サービスの低下を避けるよう事業進捗を進める。 町民の美化意識醸成のため、年2回の清掃活動は継続していく。
	②⑦自然環境・エネルギー	建設水道課 建設環境室	住宅用省エネルギー設備補助事業	全6件、420千円の補助を実施 定置用リチウムイオン蓄電システム 6件	定置用リチウムイオン蓄電システム以外は、当初の予定件数を達成できなかったため、更なる制度活用が望まれる。 太陽光発電システム(自立運転機能付) 0/2 太陽光発電システム(上記以外) 0/3 定置用リチウムイオン蓄電システム 6/5	制度の活用実績もあり、省エネルギー施策として一定以上の成果はあると考えられる。 更なる事業推進のため、HP・町報等で積極的な情報発信を行っていく。
基本目標6:創意工夫の住民主役のまち	②⑧広報・広聴	総務企画課 企画財政室	・職員の問い合わせ対応業務等の軽減に向けてNTTアドバンステクノロジー株式会社と協働で「FAQサイト・チャットボット」の実証実験を実施	・令和5年1月から3月までにFAQサイトが1,800件、チャットボットが880件の利用があった。	・実証実験期間が半年間のため、十分な効果が得られるかどうかの判断が難しいため、実証実験後も一定期間活用を続けること有用性を検証していく必要がある。	・実証実験は、令和5年6月末まで実施するため、これまで以上に情報の充実に努める。
	②⑨健全財政	総務企画課 企画財政室	①鋸南町公共施設総合管理計画の改訂を行った。 ②鋸南町公共施設等個別計画に基づき、予算措置を行った。 ③地方債の借入を令和3年度元金以下にした。	①将来負担の軽減を図り、町政運営上の健全性を維持するための参考とした。 ②計画的な予算措置により、公共施設の維持管理費用における平準化をした。 ③元金以下の借入にすることにより、公債費の抑制となった。	厳しい財政状況が続く中、各計画に基づき予算措置を続けることができるかが課題となる。	計画的な施設等の更新、長寿命化を行い、財政負担の軽減・平準化を行っていく。
		税務住民課 税務収納室	自主財源の確保及び滞納処分等の強化	徴収率を0.99ポイント向上させた。 94.32% ⇒ 95.31%	納税資力に欠ける滞納者があり、徴収が困難な事案がある。	引き続き、滞納者に対する、払戻能力の把握及び滞納原因の分析を行い、実態調査を徹底し、滞納整理に努めるとともに、納税資力に欠ける滞納者については、適正な執行停止、欠損処分を努める。
	③⑩行政改革・人材育成	総務企画課 企画財政室	人口減少対策会議を実施し、主に移住定住促進に対する検討会議を構成員6名で実施した。	①奨学資金貸付制度の見直し ②空き家関連事業について ③住宅取得支援事業についての3点について、令和5年度予算に反映するよう上申書の提出を行った。	行財政全般の検討については、指針により進めることとしているが、進捗管理については行われなかった。	上申に基づく事業運営や既存事業の見直しを行う。 行財政全般における検討会議の開催を行う。
		総務企画課 総務管理室	・職員のスキルを向上するため、町独自に職員研修を企画し実施した。	・コンプライアンス研修を実施。 全体で90名の参加(前年比35名の増)	・研修内容の受容に個人差があり、後日の評価確認が必要な場合がある。	・研修後の職員による、職場へのフィードバックのため、他の職員への内部研修の実施等
	③⑪協働のまちづくり	総務企画課 企画財政室	・ふるさと納税推進事業 ・地域おこし協力隊 ・企業版ふるさと納税 ・民間複業人材登用による実証実験	・新たに返礼品事業者14社が追加され、2,100千円のふるさと納税があった。 ・地域おこし協力隊員として3名(農業振興担当2名、移住定住対策担当1名)を新たに委嘱。5名の隊員が活動。 ・6社1,600千円の企業版ふるさと納税があった。 ・民間複業人材5名をアドバイザーとして委嘱。	・外部人材を活用した事業は、少しずつだが新たな成果が出てきているが、町内部人材による事業は手詰まり感がある。	・ふるさと納税の委託事業者のノウハウを活用した新規返礼品の開発を行い、返礼品数より寄付額の増額を目指す。 ・地域活性化起業人、地域おこし協力隊の積極的な活用 ・町にゆかりのある企業を中心とした企業版ふるさと納税の働きかけの強化、企業とのマッチングを行うサービスの活用により、財源確保に努める。 ・民間複業人材の登用により、地域の課題解決を推進する
	③⑫情報化の推進	総務企画課 企画財政室	庁内ネットワーク環境を更改し、セキュリティを維持しながら利便性が向上した。	庁内ネットワークの更改	本庁やすこやかかなど行政手続きを行う窓口のWi-Fi環境整備	地域活性化起業人の助言のもと、DXを推進するほか、Wi-Fi環境の整備を検討す
③⑬広域行政	総務企画課 企画財政室	【通常】 広域行政記載の30事業 【新規】 ・広域廃棄物処理事業 ・し尿処理施設整備事業 ・中継施設整備事業 ・水道末端給水統合事業	・令和9年4月に広域廃棄物処理施設の供用開始となることから、可燃ごみ等中継施設について南房総市と検討会にて協議を開始。 ・令和7年4月の末端水道事業統合に向けて、安房郡市広域市町村圏事務組合内に事務局設置の規約改正が行われた。	・近隣他市の動向 ・既存稼働施設の跡地利用及び他市との使用料等の摺合せ	・全国的な優良事例を参考に、広域化できる事業について、洗い出しを行い、近隣他市町村と協議を進めていく。	

鋸南町総合計画 進捗状況(令和4年度分)

実績値区分(現状値との比較) ■改善 ■変化なし ■悪化

施策	指標	単位	現状値 (令和2年度)	実績値 (令和3年度)	実績値 (令和4年度)	目標値 (令和7年度)
①地域福祉	地域支え合い活動	組	2	2	2	5
	地域支え合い ボランティアの確保	人	15	16	22	30
	福祉有償運送の 運転ボランティアの養成	人	15	18	23	20
②健康づくり	健康寿命の延伸	年	男 16.78 女 20.15	男 16.78 女 20.15	男 17.37 女 20.39	男 17.80 女 20.61
	35歳～39歳を対象とした 特定健診相当の健診の導入	—	未実施	11.3	17.0	実施
③保険・年金・医療	特定健診受診率	%	26.3	30.3	33.4	65
	健康診査受診率	%	9.8	10.4	12.1	15
	1人あたり医療費	円	397,893	448,081	441,912	398,635
	妊産婦・小児医療体制の 維持・充実	—	未実施	未実施	未実施	実施
④子ども・子育て	野外広場の整備	箇所	0	1	1	1
	子育て支援の 個別プランの作成	%	0	2	100	100
⑤高齢者・介護	地域介護予防活動支援事業 (住民主体の通いの場)	地区	20	18	19	26
	介護予防把握事業 (基本チェックリストの実施)	%	64.4	49.11	70.8	70
	要介護に認定された 平均年齢	歳	82.8	84.7	85.1	85
⑥障害者	就労継続(B型)事業の 利用者数	人	19	21	24	25
⑦学校教育	中学校個別施設計画 進捗率	%	0	20	20	100

施策	指標	単位	現状値 (令和2年度)	実績値 (令和3年度)	実績値 (令和4年度)	目標値 (令和7年度)
⑧青少年育成	自然体験プログラム 実施回数	回／年	1	4	9	4
⑨生涯学習・スポーツ	公民館主催教室・事業数	回／年	10	12	13	20
	文化祭参加の延べ人数	人／年	2,500	580	418	3,500
	水泳教室参加人数	人／年	985	956	1,057	1,500
⑩地域間交流	友好都市との交流回数	回／年	5	1	2	6
	包括協定締結数	数	5	5	5	6
	足立区立鋸南自然の家 利用者数	人／年	14,381	7,643	13,006	15,000
⑪文化・芸術	菱川師宣記念館 入館者数	人／年	8,184	5,686	7,557	12,000
	ガイドボランティアの育成	人	8	8	8	20
⑫人権・多文化共生・消費者 保護	各種審議会・委員会の 女性の割合	%	18.28	18.18	20.59	40
	室長級以上の女性職員の割合	%	21.74	26.08	25.00	33
	特殊詐欺被害件数	件／年	2	1	2	0
⑬農林業振興	農地の利用集積面積	ha／年	20	12	1	20
	人・農地プラン策定地域	地域	1	1	1	3
⑭水産業振興	稚貝・稚魚放流数	kg・尾	アワビ稚貝140kg サザエ種苗25.00kg クルマエビ種苗27万尾	アワビ稚貝64.02kg サザエ稚貝22.00kg クルマエビ種苗27万尾	アワビ稚貝87.58kg サザエ種苗44.00kg クルマエビ種苗27万尾	アワビ稚貝140kg サザエ種苗25.00kg クルマエビ種苗27万尾
⑮商工業振興	町内事業所数	事業所	382	355	355	375
⑯観光振興	観光入込客数	人／年	1,226,202	1,255,239	1,453,342	1,700,000

施策	指標	単位	現状値 (令和2年度)	実績値 (令和3年度)	実績値 (令和4年度)	目標値 (令和7年度)
⑰雇用対策と就労支援	起業数	件	0	1	6	3
	移住支援金 対象法人登録数	社	3	7	8	6
⑱土地利用	耕作放棄地面積	ha	310	345	354	300
	土地の活用件数	件	0	0	0	1
⑲道路・橋梁	橋梁の健全性	%	92	88	89	100
	トンネルの健全性	%	80	20	20	100
⑳公共交通	循環バス乗降者数	人/年	8,502	6,445	7,045	8,500
	高速バス停留所整備数	箇所	0	0	0	1
㉑住宅	住宅取得奨励金 交付数	件/年	7	28	17	15
	特定空き家数	件	63	57	58	58
	空き家バンク 物件登録数	件/年	9	6	8	10
	空き家バンク マッチング数	件/年	5	6	7	5
㉒上水道	老朽石綿セメント管 の延長	m	10,381	9,904	9,100	8,256
	重要施設耐震補強 (配水池)	箇所	0	2	2	2

施策	指標	単位	現状値 (令和2年度)	実績値 (令和3年度)	実績値 (令和4年度)	目標値 (令和7年度)
⑳消防	消防団員数	人	155	151	152	199
	防火水槽の数	基	101	101	100	101
	導入後20年を経過した 消防車両数	台	0	0	0	0
㉑防災	自主防災組織の設置率	%	67.1	76.6	76.6	100
㉒防犯・交通安全	防災訓練の参加世帯率	%	22.4	22.9	実施方法の変更により 測定していない	50
	運転免許返納数	件/年	7	7	8	15
㉓廃棄物・リサイクル	不法投棄件数	件/年	87	138	133	45
㉔自然環境・エネルギー	水洗化人口	%	83.7	86.4	83.9	90
	住宅用省エネルギー 設備設置件数	件/年	3	5	6	5
㉕広報・広聴	Twitterツイート数	回/年	0	171	117	300
	ホームページ閲覧回数	回/月	25,918	37,458	31,758	27,000
㉖健全財政	経常収支比率	%	95.1	79.3	86.6	85
	地方債残高	億円	43.5	47.9	51.3	40
	実質公債費比率	%	13.4	9.7	8.6	10
	将来負担比率	%	66.2	20.4	10.1	32
	町税徴収率	%	95.9	94.32	95.31	96.4

施策	指標	単位	現状値 (令和2年度)	実績値 (令和3年度)	実績値 (令和4年度)	目標値 (令和7年度)
⑩行政改革・人材育成	職員数	人	103	105	104	108
	会計年度任用職員数	人	131	120	129	126
⑪協働のまちづくり	まちづくり支援事業 支援団体数	団体/5年間	13	13	13	25
	豊かなまちづくり 寄付金額	円	130,444,115 (39,882,945)	15,241,600	21,266,056	50,000,000
⑫情報化の推進	公衆無線LAN(Wi-Fi)の設 置	箇所	3	3	3	7
	オープンデータの活用	件	0	0	0	200
⑬広域行政	広域で取り組む事業数	事業	31	30	30	増加を 目指す

実績区分(現状値との比較)

■改善	34	37
■変化なし	12	11
■悪化	24	21